

花と緑を取り入れた都市空間の提案



地域名 栃木県さくら市
パートナー さくら市都市整備課
花と緑の小都市推進室

15班 コミュニティデザイン学科
建築都市デザイン学科
社会基盤デザイン学科
グループ指導教員

平山 将大 羽鳥 夏花 斎藤 快
下重 晴香 佐藤 大河 坂野上 裕斗
NURUL EIAN EZZATY BINTI ZULKIFLE
児玉 紘大 山本 晃規 大石 凌空
池田 裕一 中川 嵩章

1. 背景

<さくら市桜と花と緑のまちづくり条例>

花と緑で彩られたまちづくりを推進。

本条例は、花と緑を通じて、市民が生涯にわたり生活を楽しむことができる社会の実現を目的とする。

<昨年度のプロジェクティブ演習での結果>

昨年度の取り組みにより、特に若年層が花と緑に触れる機会が少ないことが分かった。

2. 課題と目的

<昨年度の取り組みを通しての課題>

①若年層が日常的に花と緑に触れる機会が少ない。

②イベントの実施は一過性が強い→対象者の日常にアプローチする方法をとる。

③若年層に対象を絞れていなかった。

<今年度の活動目的>

生活の中に花と緑があふれるさくら市を実現するため、未来を担う若年層に花と緑に対する興味関心を持ってもらう。

→今年度の活動は高校生の活動圏にある空き地を花と緑あふれる広場に整備し、日常的な花と緑との関わりを作ることで目的を達成する。

3. 事前調査

さくら清修高校の生徒を対象に、ヒアリング調査およびアンケート調査を実施。

○ヒアリング調査 (R7.7.3)

(さくら清修高校前期生徒役員6名)

○アンケート調査 (R7.7.4~R7.7.10)

(さくら清修高校全校生徒706名に配布

回答数251件 回答率35%)

①自然(花と緑)に関する意識

○ヒアリング 植物栽培は自分ではしない。

(自然体験を自ら獲得しに行く高校生は少ない。)

○アンケート 花と緑に関わる機会がよくある人は少ないが、機会を増やしたいと考えている人は多い。

②こんびらフリーパーク(既存のフリーパーク)について

○ヒアリング

「こんびらフリーパーク」の印象について

利用度、認知度ともに低い。

遮蔽物がないため、夏場は暑そう。

○アンケート

あなたは「こんびらフリーパーク」を知っていますか?

認知度が低く、名称も場所も知らない生徒が半数以上。

③さくらパーク(新フリーパーク)について

さくらパークが整備された際、設置されると

良いと思うものを教えてください。

○ヒアリング

ベンチ、花壇、ハンモック

ライトアップ、ブランコ、涼める空間 など

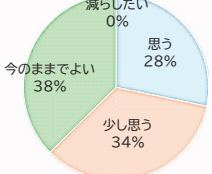
○アンケート

(屋根付き)ベンチ、テーブル

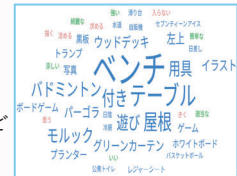
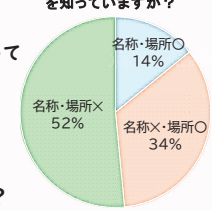
ウッドデッキ、グリーンカーテン

遊び用具(モルックやバドミントン) など

あなたは自然と関わる機会をもっと増やしたいと思いませんか?



こんびらフリーパークを知っていますか?



4. 空き地の整備・活用

○整備目的

・若年層が日常的に花と緑を感じられる・触れられる場所を設け、花と緑に興味関心を持つきっかけをつくる。

○対象敷地

・琴平通り商店街沿いの空き地(さくら市氏家地内)

→氏家駅東地区の整備のためにさくら市が取得した土地

○整備内容

整地工事

人工芝の敷設

オブジェクトの設置

・オブジェクト: プランター、パラソル、テーブル、ベンチ

ウッドデッキ、ハンモック、写真撮影用オブジェなど

○活用内容

・さくら清修高校への周知ポスター掲示・市SNSと宇都宮大学SNSに掲載

○その他

・琴平通り商店街と協定を結び、プランターへの水やりなど管理を委託、連携を行う



Before



After

5. 事後調査

さくら清修高校の生徒を対象に、アンケート調査およびヒアリング調査を実施。

○アンケート調査 (R7.11.10~11.21)

(さくら清修高校全校生徒706名に配布 回答数127件 回答率18%)

ア さくらパークの利用状況について

利用したことがある 9%

利用したことがない 91%

イ 利用した理由

気分転換やリラクゼーションのため 10%

友達と座って話さため 60%

設備に魅力を感じなかった 15%

その他 13%

ウ 利用しなかった理由

通学路ではない 71%

花と緑の興味関心が高まったか

高まった 8%

少し高まった 25%

変わらない 67%

→アンケート結果から、さくらパークの利用状況が著しく低いことがわかった。またそれに伴い、本活動の目的である「若年層の花と緑に対する意識改善」が十分に達成できていないことも判明した。

○ヒアリング調査 (R7.12.2) (さくら清修高校後期生徒役員5名)

①さくらパークの印象

・座って話せるスペースができた/以前より景観がよくなった/道路や周辺から丸見えで1人で利用するには恥ずかしい/何度も利用するほどの魅力がない

②利用者が少ない理由

・知名度が低い/今宮神社の「大イチョウ」のような象徴的かつ写真映える目立つオブジェクトがない

③さくらパークに追加して設置してほしいもの

・モバイルバッテリー、撮影用のスマホスタンド、夜間のライトアップ、季節の花を使った花畑など

6. 最終提案

今年度の活動

次年度以降

○良かった点

- ・花と緑を感じ、触れられる場所の創出
- ・砂利地が人工芝になり、景観が良くなった
- ・友人と話す時間、電車や送迎の待ち時間など日常生活の中で花と緑を感じてもらえている
- ・商店街、行政、大学の産官学の基盤を構築できた

○反省点

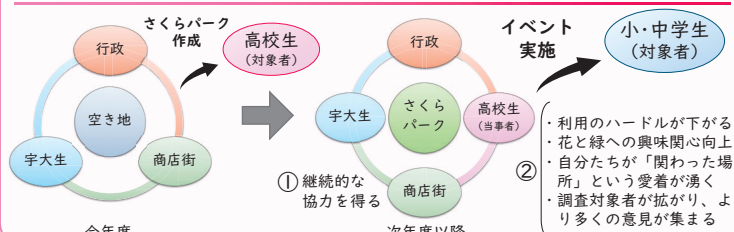
- ・高校生への認知度が低く、利用者が少なかった
- ・高校生にとっての大きな魅力がなく、興味関心を引くことができなかった
- ・高校生が「当事者」ではなく「第三者」だった

継続的なイベントを計画&実施

<期待できる効果・展望>

①琴平通り商店街協力会との連携が強くなる!

②さくら清修生が「当事者」、その他の若年層が「対象者」になる!



生活の中で常に花と緑に触れ合えるさくら市へ!!